

# 都市再生整備計画 事後評価シート

か しま じんぐう しゅうへん ち く  
鹿島神宮周辺地区

平成24年12月

いばらきけん か しま し  
茨城県鹿嶋市

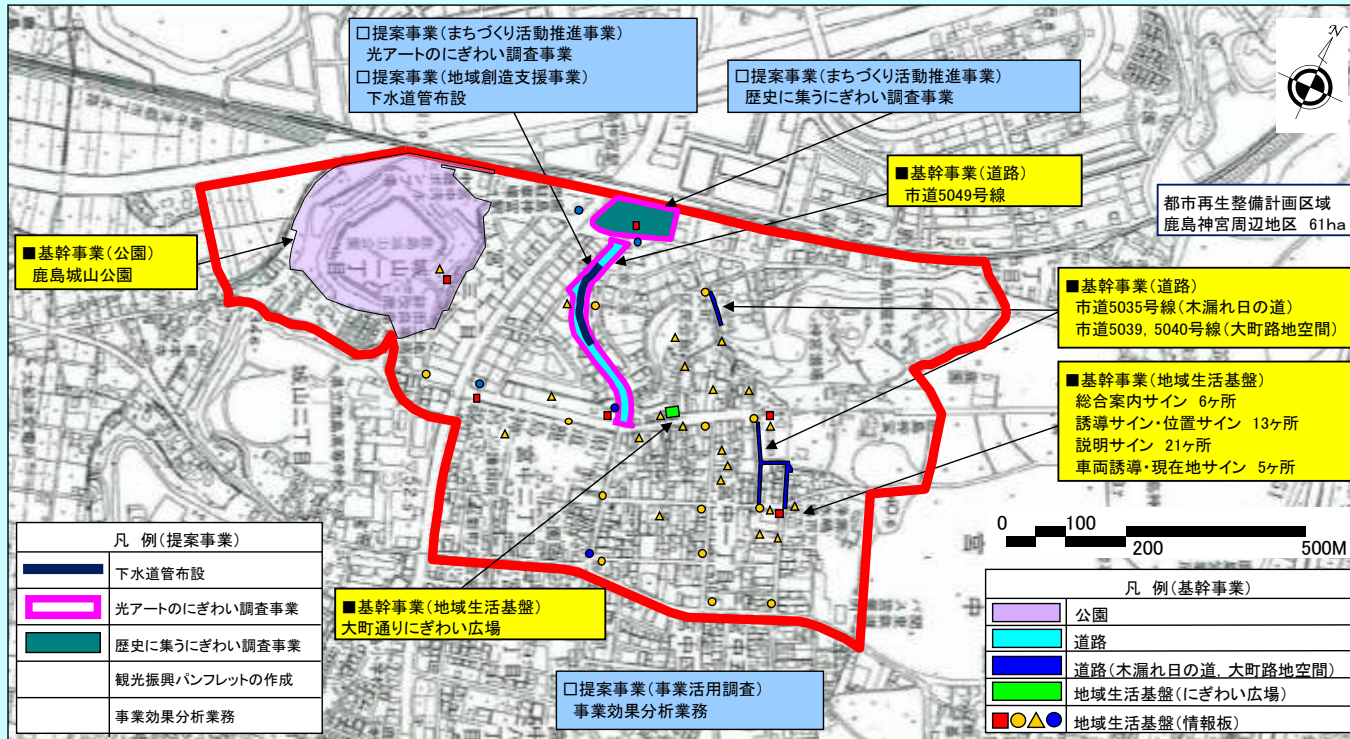
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	鹿嶋市		地区名	鹿島神宮周辺地区			面積	61ha		
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	391.5百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(道路改良:市道5049号線(せせらぎ通り)、市道5035号線(木漏れ日の道)、市道5039号線(大町路地空間)、市道5040号線(大町路地空間)) 公園(公園整備:鹿島城山公園)、地域生活基盤施設(案内板)										
		提案事業	まちづくり活動推進事業(光アートのにぎわい調査事業、歴史に集うにぎわい調査事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(宮中門前町多目的広場)	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	まちづくり活動推進事業(観光振興パンフレットの作成)	地権者との最終合意が得られず、広場整備の予定地を変更したため			なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(広場:大町通りにぎわい広場)	既存の観光パンフレットの内容充実を図ることとしたため			なし						
		提案事業	地域創造支援事業(下水道管布設) 事業活用調査(事業効果分析業務)	宮中門前町多目的広場の状況に伴い予定地を変更したため			なし						
交付期間の変更	当初	平成20年度～平成24年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
	変更	平成 年度～平成 年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
		単位	基準年度	目標年度		モニタリング	評価値						
	指標1	当該地区利用者数	人/年	1,554,000	H19	1,638,000	H24	-	1,413,252	×	あり	● 本指標は、鹿島神宮への来訪者の増減が大きく影響しているが、東日本大震災による鹿島神宮の被災や観光の自粛等もあり、事業効果が見えづらくなっている。しかし、街歩き人口数は増加していることや本事業が現時点で全て終了していない状態であることから、フォローアップ時点での達成見込みはあると考えられる。	平成25年5月
										なし			
指標2	街歩き人口数	人/日	200	H19	250	H24	385	425	○	あり	● 道路整備の進捗や、光アートのにぎわい調査事業、歴史に集うにぎわい調査事業等のソフト事業、また、民間によるギャラリーの開設等により、本地区への来訪動機の創出が図られ、街歩き人口の増加が見られている。	平成25年9月	
										なし			
指標3	鹿島神宮観光客満足度	%	69.0	H19	75.0	H24	74.0	64.4	×	あり	● モニタリング時点では目標値近くまで達しているが、震災直後の調査結果で、その時点では来訪者に対するおもてなし等が不十分であった。その後時間の経過とともに、体制も整いつつあることから、フォローアップ時点では達成が可能と考えられる。	平成25年5月	
										なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
		単位	基準年度	目標年度		モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	城山公園利用者数	人/年	10,000	平成19年	/		-	24,820	/	/	● 本事業で実施した駐車場や遊具の整備により、公園へのアクセス向上と子育て世代を中心とする利用の増進が図られ、利用者数の増加に繋がった。	平成25年5月	
4)定性的な効果発現状況	門前通りに、市民によるギャラリーが開設され、市民活動や来訪客の立ち寄りの場などとして新たな拠点が形成されつつある。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	確認に必要なデータの有無のチェックを実施した		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●					
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-						
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						
持続的なまちづくり体制の構築	鹿島神宮門前町景観まちづくり委員会を開催した		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-						
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-						
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●						
							住民を主体とする組織の早期立ち上げに向けた取り組みと活動支援を行う。						

## 様式2-2 地区の概要

鹿島神宮周辺地区(茨城県鹿嶋市) 整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 地域交流の促進によるにぎわいのまちづくり 目標1: 市民の生活拠点としての役割を高め、中心市街地の賑わいを再生する。 目標2: 鹿島神宮及び周辺の観光資源を活かし、観光客を街なかに誘導することにより一層の地域振興を図る。 目標3: 鹿島神宮周辺地区の伝統文化を広く発信するとともに伝統文化やイベント等を通じた地域コミュニティの形成を図る。	当該地区利用者数	単位: 人/年	1,554,000 H19	1,638,000 H24	1,413,252 H23
	街歩き人口数	単位: 人/日	200 H19	250 H24	425 H24
	鹿島神宮観光客満足度	単位: %	69 H19	75 H24	64.4 H23



### まちの課題の変化

・本事業で位置づけた道路整備等のハード事業、イベント開催等のソフト事業により、鹿島神宮という地域資源を活用したまちづくりが実践でき、門前町を中心に新たなまちづくり活動の契機となった。今後は地域住民やボランティア、観光事業者を取り込んだ継続的なまちづくり活動に対する支援が重要になる。

・区域内の市道整備や案内板の整備により、鹿島神宮周辺の道路環境や歩行者環境の充実が図られた。市道5049号線(レンガ通り)の歩道改良工事では、既存水路の撤去、歩道階段の一部スロープ化工事を行うとともに、沿道宅地の利用促進のための出入口の改良、提案事業として位置づけた下水道施設の新設等により、駅からの歩行者環境が改善され、歩行者数の増加と回遊性の向上が図られた。一方で、区域内の道路については、景観まちづくり委員会で策定された「鹿島神宮門前町景観まちづくり計画」に位置づけたものの実現に至っていない箇所もあることから、今後はこれらの実現に取り組むことが必要である。

### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・今後は、鹿島神宮周辺の景観づくりを推進する組織として、住民を主体とする組織の立ち上げを予定しているが、このような地元を取り込んだ組織に対して継続的な活動支援を行うことにより、本事業により整備された道路空間等を活用し、門前町としてふさわしい高質な街並み空間の形成を促進する。

・案内板設置については、道路整備とともに回遊性向上において重要な要素であることから、景観まちづくり委員会で策定された「鹿島神宮門前町景観まちづくり計画」で位置づけた箇所の整備や、観光ボランティア等の意見を把握しながら新たな設置箇所の検討を行う等、回遊性向上に向けた取り組みを検討する。